

平成 27 年度口頭発表等一覧

[企画部]

- ◇日本地球惑星科学連合 2015 年大会 平成 27 年 5 月 24 日～28 日 幕張メッセ国際会議場（千葉県千葉市）
 - ・災害対応を支える空間表現の新技术：宇根寛・中川弘之・栗栖悠貴
 - ・国際的な防災の枠組における地理空間情報技術の位置づけ：宇根寛
- ◇XIX INQUA Congress（国際第四紀学連合第 19 回大会）平成 27 年 7 月 26 日～8 月 2 日 名古屋国際会議場（愛知県名古屋市）
 - ・Liquefaction Hazard Mapping using Micro-landform Classification Information（マイクロ地形分類情報による浸水ハザードマップ作成）：宇根寛
- ◇第 54 回（平成 27（2015）年度）（公社）日本地すべり学会研究発表会 平成 27 年 8 月 25 日～28 日 山形テルサ（山形県山形市）
 - ・ALOS-2/PALSAR-2 データを用いた 2015 年ネパール地震による地すべり性変動の研究：佐藤浩（日本大学）・宇根寛
- ◇日本地理学会 2015 年秋季学術大会 平成 27 年 9 月 18 日～20 日 愛媛大学城北キャンパス（愛媛県松山市）
 - ・災害対応を支える地理空間情報の新技术～平成 26 年 8 月豪雨（広島土砂災害）における現地対応を例に～：宇根寛・栗栖悠貴
 - ・平成 26 年 8 月豪雨（広島土砂災害）の対応における地理空間情報の活用：宇根寛・栗栖悠貴
- ◇日本応用地質学会研究発表会 平成 27 年 9 月 24 日～25 日 京都大学宇治キャンパス宇治おうばくプラザ（京都府宇治市）
 - ・平成 26 年 8 月豪雨に伴う土砂災害における地理空間情報の活用に関する考察とその意義：栗栖悠貴
- ◇地理情報システム学会第 24 回学術研究発表大会 平成 27 年 10 月 10 日～11 日 慶応義塾大学三田キャンパス（東京都港区）
 - ・国連防災世界会議で認められた地理空間情報の重要性：宇根寛
- ◇日本活断層学会 2015 年秋季学術大会 平成 27 年 11 月 27 日～28 日 岡山大学創立五十周年記念館金光ホール（岡山県岡山市）
 - ・SAR 干渉画像にあらわれた 2014 年長野県北部の地震に伴う地震断層周辺の地表変動：宇根寛・中埜貴元（地理地殻活動研究センター）

[測地部]

- ◇22nd Meeting of the European VLBI Group for Geodesy and Astrometry（第 22 回欧州 VLBI（EVGA）会議）平成 27 年 5 月 16 日～23 日 ミカエレンスシアター（ポルトガル・ポント・デルガダ）
 - ・GSI's regional station and AOV activities（日本の地方局と AOV における活動）：川畑亮二・若杉貴浩
 - ・First geodetic result of Ishioka VGOS Station in Japan（日本の石岡 VGOS 観測局の初測地観測結果）：福崎順洋・和田弘人・黒田次郎・栗原忍（企画部）・川畑亮二・若杉貴浩
- ◇FIG Working Week 2015（2015 年 FIG ワーキングウィーク）平成 27 年 5 月 17 日～21 日 コングレスセンターソフィア（ブルガリア・ソフィア）

- ・ Policy on national geodetic control points -from triangulation control points to GEONET - (日本の国家測地基準点の管理方針ー三角点から GEONET へー) : 宮原伐折羅・小門研亮 (国土交通省)・古屋智秋 (測地観測センター)

◇日本地球惑星科学連合 2015 年大会 平成 27 年 5 月 24 日～28 日 幕張メッセ国際会議場 (千葉県千葉市)

- ・ 主成分分析を用いた地磁気全磁力モデルの開発 : 阿部聡・宮原伐折羅・小山崇夫 (東京大学地震研究所)・小河勉 (東京大学地震研究所)
- ・ 日本重力基準網 2013 (JGSN2013) に準拠した日本国内の重力データの作成 : 宮崎隆幸 (地理地殻活動研究センター)・吉田賢司・宮原伐折羅
- ・ 日本の離島における新しいジオイド・モデルの構築 : 小島秀基・宮原伐折羅・根本悟・伊藤純一 (北陸地方測量部)・兒玉篤郎 (気象庁)・黒石裕樹 (中部地方測量部)
- ・ グローバルな測地基準座標系 (GGRF) に関する国連総会決議と今後の展望 : 宮原伐折羅
- ・ 世界の VGOS 整備の最新情報について : 川畑亮二
- ・ 石岡測地観測局におけるコロケーション測量 : 若杉貴浩・川畑亮二・福崎順洋・黒田次郎・和田弘人
- ・ GNSS 火山変動リモート観測装置 (REGMOS) の改良とその効果 : 古屋有希子 (測地観測センター)・上芝晴香・吉岡貢 (国土交通大学校)・成田次範 (東北地方測量部)

◇第 44 回国土地理院報告会 平成 27 年 6 月 4 日 日経ホール (東京都千代田区)

- ・ いつでも・どこでも・誰でも位置情報を簡単に利用できる社会を目指してー地方での位置情報サービス向上に向けてー : 松坂茂
- ・ 「だいち 2 号」による日本全国地殻変動監視ー衛星からくまなく探る大地の動きー : 和田弘人

◇測量技術講演会 平成 27 年 6 月 9 日 愛知県産業労働センター (愛知県名古屋市)

- ・ だいち 2 号 (ALOS-2) を用いた地殻変動監視ー衛星からくまなく探る大地の動きー : 和田弘人

◇第 14 回 IVS 技術開発センターシンポジウム 平成 27 年 6 月 25 日 情報通信研究機構鹿島宇宙技術センター (茨城県鹿嶋市)

- ・ 石岡 VGOS アンテナの初測地観測結果 : 福崎順洋・和田弘人・川畑亮二・石本正芳・若杉貴浩

◇JAXA シンポジウム 2015 平成 27 年 7 月 2 日 有楽町朝日ホール (東京都千代田区)

- ・ 人工衛星を用いた国土の変動監視ー衛星からくまなく探る大地の動きー : 和田弘人

◇8th East Asia VLBI Workshop (第 8 回東アジア VLBI ワークショップ) 平成 27 年 7 月 8 日～10 日 北海道大学 (北海道札幌市)

- ・ Activities of Asia-Oceania VLBI Group for Geodesy made Astrometry (AOV) (アジア・オセアニア VLBI グループの活動について) : 川畑亮二・石本正芳・若杉貴浩

◇日本測地学会第 124 回講演会 平成 27 年 10 月 14 日～16 日 九州大学・西新プラザ (福岡県福岡市)

- ・ 電子基準点データによる標高変動補正を考慮した水準網平均計算 : 山下達也・豊福隆史・小門研亮 (国土交通省)・根本悟・田中博幸
- ・ GNSS 測量機を用いた潮位観測ー離島での標高決定ー : 湯通堂亨・植田勲・大森伸哉・黒田次郎・田中博幸・加古孝範 (中部地方測量部)・齋田宏明 (企画部)・兒玉篤郎 (気象庁)
- ・ 「地球規模の測地基準座標系」に関する国連総会決議とその展望 : 宮原伐折羅
- ・ VGOS 観測局の整備 (その 4) : 福崎順洋・和田弘人・川畑亮二・石本正芳・若杉貴浩
- ・ ALOS-2 データを使用した SAR 干渉解析による日本全国地盤変動監視 (第 2 報) : 山田晋也・三浦優司・山中雅之・攪上泰亮・森下遊 (地理地殻活動研究センター)

- ・人工散乱体（コーナリフレクタ）を用いた ALOS-2 干渉 SAR 実証実験：攪上泰亮・森下遊（地理地殻活動研究センター）・山田晋也・三浦優司・仲井博之・和田弘人
- ◇最新測量技術講習会（三次元計測の動向と今後の展開） 平成 27 年 10 月 30 日 測量年金会館（東京都新宿区）
 - ・「だいち 2 号」を用いた地殻・地盤変動監視：和田弘人
- ◇平成 27 年度国土交通省国土技術研究会 平成 27 年 11 月 12 日～13 日 国土交通省中央合同庁舎 2 号館（東京都千代田区）
 - ・「だいち 2 号」を利用した宇宙からの火山活動の監視：山田晋也・三浦優司・山中雅之・仲井博之・和田弘人
- ◇陸域観測技術衛星 2 号「だいち 2 号」データ利用シンポジウム 平成 27 年 11 月 17 日 秋葉原コンベンションホール（東京都千代田区）
 - ・国土地理院によるだいち 2 号の災害対策への活用：藤原智
- ◇1st AOV Science and Technology meeting（第 1 回 AOV 科学技術会合） 平成 27 年 11 月 19 日～20 日 タスマニア大学（オーストラリア・ホバート）
 - ・GSI's Vision for the AOV（国土地理院における AOV への展望）：川畑亮二・和田弘人・石本正芳・若杉貴浩・福崎順洋
- ◇京都大学防災研究所一般研究集会～新世代 SAR がもたらす災害・環境モニタリングの進展～ 平成 27 年 12 月 2 日～3 日 京都大学宇治キャンパス（京都府宇治市）
 - ・国土地理院におけるだいち 2 号の活用：三浦優司
- ◇関西 G 空間フォーラム in 兵庫 平成 27 年 12 月 10 日 兵庫県中央労働センター（兵庫県神戸市）
 - ・レーダー衛星を用いた災害に結びつく地表変動の監視について：和田弘人
- ◇2015 年度 VLBI 懇談会シンポジウム 平成 27 年 12 月 24 日～25 日 東洋大学（東京都文京区）
 - ・AOV における国土地理院の活動について：川畑亮二・和田弘人・福崎順洋・石本正芳・若杉貴浩
 - ・石岡測地観測局におけるコロケーション測量：若杉貴浩・川畑亮二・福崎順洋・和田弘人
 - ・国土地理院機関報告：石本正芳・和田弘人・川畑亮二・福崎順洋・若杉貴浩
- ◇平成 27 年度 Conductivity Anomaly 研究会（SGEPSS 分科会） 平成 28 年 1 月 6 日～7 日 東京大学地震研究所（東京都文京区）
 - ・磁気図 2015.0 年値の作成へ向けて：阿部聡・菅原安宏・上村和彦・宮原伐折羅
- ◇ERATO International Workshop：“Challenges in Precision Science”(ERATO 国際ワークショップ“正確さの科学における挑戦”) 平成 28 年 1 月 25 日～27 日 東京大学小柴ホール（東京都文京区）
 - ・Perspective on utilization of optical lattice clock for geodesy（光格子時計の測地学への活用の展望）：宮原伐折羅・松尾功二（地理地殻活動研究センター）・黒石裕樹（中部地方測量部）・宗包浩志（地理地殻活動研究センター）
- ◇第 13 回北海道測量技術講演会 平成 28 年 1 月 28 日 札幌第 1 合同庁舎（北海道札幌市）
 - ・だいち 2 号による全国地盤変動監視に向けて：和田弘人
- ◇SAT テクノロジー・ショーケース 2016 平成 28 年 2 月 4 日 つくば国際会議場（茨城県つくば市）
 - ・「だいち 2 号」を利用した宇宙からの火山活動の監視：三浦優司
 - ・REGMOS（GNSS 火山変動リモート観測装置）—火山活動を捉えるための自律型 GNSS 連続観測装置—：上芝晴香
- ◇9th IVS General Meeting（第 9 回国際 VLBI 事業（IVS）総会） 平成 28 年 3 月 14 日～19 日 エクデニ

(南アフリカ・マルデルスドリフト)

- ・ Report on the current activities of GSI VLBI (国土地理院の VLBI の現状について) : 川畑亮二・和田弘人・福崎順洋・石本正芳・若杉貴浩
- ・ Current Status of Ishioka VGOS antenna (石岡 VLBI 観測施設の状況について) : 川畑亮二・和田弘人・福崎順洋・石本正芳・若杉貴浩

[地理空間情報部]

- ◇第 44 回国土地理院報告会 平成 27 年 6 月 4 日 日経ホール (東京都千代田区)
 - ・ 情報通信技術を利用した地理空間情報の活用力向上に向けて : 藤村英範
- ◇GitHub Universe 平成 27 年 10 月 2 日 Pier 70 会議場 (米国・サンフランシスコ)
 - ・ GSI Maps for the next wave of civic innovation (次世代シビックイノベーションのための地理院地図) : 藤村英範

[基本図情報部]

- ◇日本写真測量学会平成 27 年度年次学術講演会 平成 27 年 5 月 19 日～20 日 東京大学生産技術研究所 (東京都目黒区)
 - ・ UAV による撮影画像を用いた三次元モデリングソフトウェアの精度検証 : 早坂寿人
- ◇関西大学カイザープロジェクト S「高度空間計測技術開発コンソーシアム」特別セミナー 平成 27 年 5 月 27 日 関西大学東京センター (東京都千代田区)
 - ・ UAV の活用に向けた取り組みについて : 大野裕幸
- ◇第 44 回国土地理院報告会 平成 27 年 6 月 4 日 日経ホール (東京都千代田区)
 - ・ 地域と連携した登山道調査 : 齋藤勘一
 - ・ 外国人にわかりやすい地図表現 : 中村孝之
- ◇平成 27 年度日本地図学会定期大会 平成 27 年 8 月 5 日～7 日 日本大学経済学部本館 (東京都千代田区)
 - ・ 地域と連携した登山道調査 : 水田良幸
 - ・ 外国人にわかりやすい地図のための標準作成 : 中村孝之
 - ・ UAV による西之島の空中写真撮影及び地形計測 : 宮地邦英
- ◇国土交通省国土技術研究会 平成 27 年 11 月 12 日～13 日 国土交通省中央合同庁舎 2 号館 (東京都千代田区)
 - ・ ヘリ画像処理システムの開発 : 宮地邦英
- ◇第 1 回 UAV 活用フォーラム講演会 平成 27 年 11 月 25 日 大田区産業プラザ (東京都大田区)
 - ・ 国土地理院としての UAV 活用事例 : 大野裕幸
- ◇小型無人機 (UAV) 適正活用促進協議会 平成 27 年 11 月 30 日 中小企業大学校広島校 (広島県広島市)
 - ・ 測量への UAV の導入に向けた検討状況について : 大野裕幸

[応用地理部]

- ◇第 44 回国土地理院報告会 平成 27 年 6 月 4 日 日経ホール (東京都千代田区)
 - ・ 安全安心な地域づくりに向けた新たな取り組みー防災アプリケーションの公募と展開ー : 村岡清隆
- ◇日本情報地質学会 2015 年度シンポジウムー地形・地質三次元モデリングの最前線ー 平成 27 年 12 月 9

日 飯田橋レインボービル（東京都新宿区）

・日本海側山地に特有な筋状地形（雪崩地形）の地形形態と分布について：関口辰夫

◇2015年度東海大学情報技術センター研究・開発報告会 平成28年2月13日 東海大学代々木校舎（東京都渋谷区）

・Landsat-8 データ等を用いた国土モニタリング：笹川啓

[測地観測センター]

◇日本地球惑星科学連合2015年大会 平成27年5月24日～28日 幕張メッセ国際会議場（千葉県千葉市）

・マルチGNSSによる高精度測位技術の開発－測量におけるマルチGNSSの利活用に向けて－：鎌苅裕紀・古屋智秋・万所求・辻宏道・田中和之・宮川康平（国土交通省）・佐藤雄大・畑中雄樹（地理地殻活動研究センター）・宗包浩志（地理地殻活動研究センター）・川元智司（地理地殻活動研究センター）

・GNSSの現状とIGSの活動：古屋智秋・鎌苅裕紀・万所求（地理空間情報部）

・GEONETリアルタイム解析を用いた地震規模即時推定システムREGARDの概要：佐藤雄大・宮川康平（国土交通省）・川元智司（地理地殻活動研究センター）・大島健一・村松弘規・犬飼孝明・太田雄策（東北大学）・出町知嗣（東北大学）・三浦哲（東北大学）・日野亮太（東北大学）・中村康弘（日立造船株式会社）・西山真衣（日立造船株式会社）・道家友紀（日立造船株式会社）

◇第44回国土地理院報告会 平成27年6月4日 日経ホール（東京都千代田区）

・オープンGEONET！－電子基準点や関連成果を社会に広げよう－：古屋智秋

◇日本測地学会第124回講演会 平成27年10月14日～16日 九州大学（福岡県福岡市）

・マルチGNSSによる高精度測位技術の開発－情報化施工を想定した観測－：鎌苅裕紀・山尾裕美・古屋智秋・万所求・辻宏道・檜山洋平・後藤清・佐藤雄大・畑中雄樹・宗包浩志（地理地殻活動研究センター）・川元智司（地理地殻活動研究センター）

・GEONETの解析へのGLONASSデータ追加の試み：畑中雄樹

・2015年の箱根山周辺における地殻変動について：檜山洋平・矢来博司（地理地殻活動研究センター）・木暮弘幸・川島悟・菅富美男・古屋智秋・瀬川秀樹・甲斐玲子

◇International Symposium on GNSS 2015 (GNSS国際シンポジウム2015) 平成27年11月16日～19日 京都勧業館「みやこめっせ」（京都府京都市）

・Evaluation of inter-system biases of geodetic GNSS receivers in double differences（基線解析時にGNSS受信機間で発生するISBの評価）：古屋智秋・山尾裕美・鎌苅裕紀・辻宏道

◇7th Multi-GNSS Asia (MGA) Conference（第7回マルチGNSSアジアカンファレンス）平成27年12月7日～9日 The Rizqun International Hotel（ブルネイ・バンドルスリブガワン）

・How GNSS CORS in Japan (GEONET) works for disaster mitigations（GEONETは防災にどう役立つか）：辻宏道

[地理地殻活動研究センター]

◇日本写真測量学会平成27年度年次学術講演会 平成27年5月1日 東京大学生産技術研究所（東京都目黒区）

・2014年長野県北部の地震における白馬村堀之内地区の地表変位の写真計測：神谷泉・小笠原誠（陸上自衛隊）・鈴木康弘（名古屋大学）・中埜貴元・岩橋純子・中島秀敏・石黒聡士（国立環境研究所）

◇日本地球惑星科学連合 2015 年大会 平成 27 年 5 月 24 日～28 日 幕張メッセ国際会議場（千葉県千葉市）

- ・降雪が GEONET 測位解に及ぼす影響について (2) : 今給黎哲郎・宗包浩志・佐藤雄大 (測地観測センター)
- ・2015 年豊後水道のスロースリップ : 小沢慎三郎
- ・2014 年長野県北部の地震に伴い出現した地表地震断層における地中レーダ探査 : 中埜貴元・飛田幹男・中島秀敏・神谷泉
- ・Phase Linking を利用した干渉 SAR 時系列解析の計測点密度向上—非都市域の地殻変動観測の高度化に向けて— : 小林知勝・Sami Samiei-Esfahany (Delft University of Technology)・Ramon F. Hanssen (Delft University of Technology)
- ・干渉 SAR 時系列解析により検出された弥陀ヶ原火山・地獄谷の膨張性地殻変動 : 小林知勝・Ramon F. Hanssen (Delft University of Technology)
- ・2011 年東北地方太平洋沖地震の粘弾性緩和による変動の特徴 : 水藤尚
- ・オブジェクトベース領域分割を用いた瀬戸内海を含む西南日本の地形分類について : 岩橋純子・松四雄騎 (京都大学)・福岡浩 (新潟大学)
- ・西南日本外帯を中心とした海陸一体の数値地形解析 : 岩橋純子・松四雄騎 (京都大学)・福岡浩 (新潟大学)
- ・2012-2014 年における地球重心と回転極の移動傾向の急転 : 松尾功二・大坪俊通 (一橋大学)・宗包浩志・日置幸介 (北海道大学)
- ・日本列島の重力変化と上下変位 : 松尾功二・宗包浩志・畑中雄樹
- ・UAV による地上基準点の位置計測とその精度 : 飛田幹男・中埜貴元・神谷泉・乙井康成・岩橋純子・中島秀敏
- ・GEONET リアルタイム解析システム (REGARD) による地震規模即時推定 : 川元智司・宮川康平 (国土交通省)・佐藤雄大 (測地観測センター)・西村卓也 (京都大学)・太田雄策 (東北大学)・三浦哲 (東北大学)・日野亮太 (東北大学)
- ・ALOS-2 の SAR 干渉解析で捉えられた長野県北部の地震の地殻変動 : 矢来博司・小林知勝・森下遊・山田晋也 (測地部)
- ・Crustal deformation caused by the 2015 Nepal earthquake detected by ALOS-2 data and the fault model (ALOS-2 データによって検出されたネパールの地震に伴う地殻変動と震源断層モデル) : 森下遊・小林知勝・矢来博司
- ・ALOS-2 データを使用した SAR 干渉解析による日本全国地盤変動監視 (序報) : 森下遊・山田晋也 (測地部)

◇第 44 回国土地理院報告会 平成 27 年 6 月 4 日 日経ホール (東京都千代田区)

- ・電子基準点誤差分析システムの開発 : 宗包浩志

◇26th General Assembly of the International Union of Geodesy and Geophysics (第 26 回国際測地学・地球物理学連合総会) 平成 27 年 6 月 22 日～7 月 2 日 プラハ国際会議場 (チェコ・プラハ)

- ・Abrupt changes in drift trend of the earth's geocenter and rotational pole in 2012-2014 (2012-2014 年における地球重心と回転極の移動傾向の急転) : 松尾功二・大坪俊通 (一橋大学)・宗包浩志・日置幸介 (北海道大学)
- ・Real-time Earthquake Magnitude Estimation by the GEONET real-time analysis system: REGARD (GEONET

リアルタイム解析システム (REGARD) による地震規模即時推定 : 川元智司・宮川康平 (国土交通省) ・佐藤雄大 (測地観測センター) ・西村卓也 (京都大学) ・太田雄策 (東北大学) ・日野亮太 (東北大学) ・三浦哲 (東北大学)

◇27th International Cartographic Conference (ICC2015) (第27回国際地図学会議) 平成27年8月23日～28日 SulAmerica Convention Center (ブラジル・リオデジャネイロ)

・Construction of Seismic Ground Disaster Assessment System (SGDAS) (地震時地盤災害予想システム (SGDAS) の構築) : 神谷泉・中埜貴元・乙井康成・中島秀敏

◇第54回日本地すべり学会研究発表会 平成27年8月25日～28日 山形テルサ (山形県山形市)

・旧版地形図の土地利用・地名と地すべり分布から観察した集落の変遷—高知県本川・大川地区を例として— : 岩橋純子

◇日本地理学会2015年秋季学術大会 平成27年9月18日～19日 愛媛大学 (愛媛県松山市)

・リモートセンシングデータを用いた250mメッシュ微地形区分の細分化手法の検討 : 中埜貴元

◇日本火山学会2015年度秋季大会学術講演会 平成27年9月28日～30日 富山大学 (富山県富山市)

・三宅島2000年噴火のカルデラ形成期に観測された50秒パルスの力源の再検討(2) —三軸楕円体モデル— : 宗包浩志・小林知勝・及川純 (東京大学地震研究所)

・ALOS/ALOS-2衛星を用いたSAR干渉解析による弥陀ヶ原火山・地獄谷の地殻変動について : 小林知勝

・ALOS-2干渉SARにより捉えられた2015年箱根山・大涌谷火山活動に伴う地殻変動 : 小林知勝・飛田幹男・中島秀敏・矢来博司・森下遊・和田弘人 (測地部) ・仲井博之 (測地部) ・三浦優司 (測地部) ・山中雅之 (測地部) ・山田晋也 (測地部) ・攪上泰亮 (測地部) ・上芝晴香 (測地部)

◇日本地形学連合2015年秋季大会 平成27年10月10日～12日 鹿児島大学稲盛会館 (鹿児島県鹿児島市)

・海陸一体のDEM作成とその周辺 : 岩橋純子・松本良浩 (海上保安庁海洋情報部) ・中島秀敏・神谷泉

◇日本測地学会第124回講演会 平成27年10月14日～16日 九州大学・西新プラザ (福岡県福岡市)

・GEONETの解析へのGLONASSデータ追加の試み : 畑中雄樹

・日本重力基準網2013 (JGSN2013) に準拠した日本国内の重力データの作成 : 宮崎隆幸

・位相残差を用いたGNSSキネマティック解析の誤差軽減の試み : 川元智司・宗包浩志

・マルチGNSSに対応したRINEX前処理ソフトウェアの開発 : 川元智司

・Phase Linking法を利用した山間部の地殻変動観測の効果—立山・弥陀ヶ原火山を例に— : 小林知勝

・MAI法による衛星進行方向の地表変位検出と面的3次元変動場の獲得—2014年長野県北部の地震について— : 小林知勝・森下遊・矢来博司

・地球重心の年々変動 : 松尾功二・大坪俊通 (一橋大学) ・宗包浩志・日置幸介 (北海道大学)

・日本の精密重力ジオイド・モデルの開発 (その1) : 松尾功二・宮崎隆幸・宮原伐折羅 (測地部) ・黒石裕樹 (測地部)

・九州で発生する複数の長期的スロースリップイベント : 矢来博司・宗包浩志

・ALOS-2干渉SARにより捉えられた2015年箱根山・大涌谷火山活動に伴う地殻変動 : 矢来博司・小林知勝・飛田幹男・中島秀敏・森下遊・和田弘人 (測地部) ・仲井博之 (測地部) ・三浦優司 (測地部) ・山中雅之 (測地部) ・山田晋也 (測地部) ・攪上泰亮 (測地部) ・上芝晴香 (測地部)

・対数・指数関数混合モデルによる東北沖地震余効変動の予測実験 : 飛田幹男

・ALOS-2干渉SARによるネパール (Gorkha) 地震に伴う地殻変動の計測 : 森下遊・小林知勝・矢来博

司

- ◇日本地震学会 2015 年度秋季大会 平成 27 年 10 月 26 日～28 日 神戸国際会議場（兵庫県神戸市）
 - ・ALOS-2 干渉 SAR によるネパール（Gorkha）地震に伴う地殻変動の計測：森下遊・小林知勝・矢来博司
 - ・東海地方の非定常変動：小沢慎三郎
 - ・ALOS-2 干渉 SAR データから得られたネパール（Gorkha）地震の震源断層モデル：小林知勝・森下遊・矢来博司
 - ・対数・指数関数混合モデルによる東北沖地震余効変動の予測実験：飛田幹男
 - ・2004 年紀伊半島南東沖の地震の余光変動シミュレーション：水藤尚
 - ・2014 年長野県北部の地震後の余効変動：矢来博司
- ◇日本写真測量学会平成 27 年度秋季学術講演会 平成 27 年 10 月 29 日～30 日 釧路市観光国際交流センター（北海道釧路市）
 - ・航空レーザ DSM データへの地形量解析の適用による地表粗度分類の検討：中埜貴元
- ◇日本活断層学会 2015 年度秋季学術大会 平成 27 年 11 月 27 日～28 日 岡山大学（岡山県岡山市）
 - ・2014 年長野県北部の地震に伴う地表地震断層周辺の浅部地下構造と地殻変動：中埜貴元・宇根寛（企画部）
- ◇2015 AGU Fall Meeting（米国地球物理学連合 2015 年秋季大会） 平成 27 年 12 月 14 日～18 日 モスコーニコンベンションセンター（米国・サンフランシスコ）
 - ・Measuring Crustal Deformation Caused by Nepal (Gorkha) Earthquake Using ALOS-2 SAR Interferometry：森下遊・小林知勝・矢来博司
- ◇日本地理学会 2016 年春季学術大会 平成 28 年 3 月 21 日～22 日 早稲田大学（東京都新宿区）
 - ・平成 27 年 9 月関東・東北豪雨における鬼怒川周辺の浸水範囲と地形との関係—下妻市前河原地区周辺の事例—：中埜貴元・小荒井衛（茨城大学）・岩橋純子